

東武グループ 統合報告書

2024



目次

イントロダクション

- 02 東武グループ経営理念・東武グループ経営方針
- 04 At a Glance

社長メッセージ

- 06 社長メッセージ

価値創造ストーリー

- 12 価値創造の歩み
- 14 価値創造プロセス
- 16 価値創造プロセスにおいて活用する資本
- 18 マテリアリティ

経営ビジョン

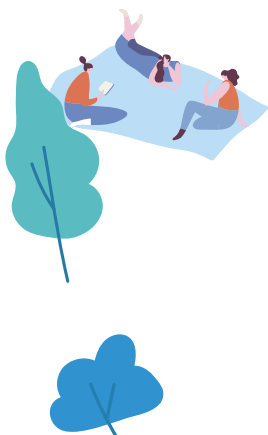
- 20 長期経営ビジョン
- 24 「東武グループ中期経営計画2024～2027」の概要
- 26 重点戦略① 成長をけん引する事業の確立
- 32 重点戦略② 事業基盤(沿線)の継続的な強化
- 36 重点戦略③ 事業領域拡張を見据えた新規事業の育成
- 38 重点戦略④ 環境負荷低減と人的資本強化
- 42 財務・資本政策
- 44 財務・非財務ハイライト

事業概況・サステナビリティ経営

- 46 事業概要
- 50 人材戦略
- 58 安全・安心
- 61 環境負荷低減に向けた取り組み
- 65 ステークホルダーへの取り組み
- 67 人権の尊重
- 68 コーポレート・ガバナンス
- 72 役員一覧
- 76 コンプライアンス
- 78 リスク管理

企業情報

- 80 財務・非財務データ
- 82 グループ会社一覧
- 83 会社概要／株式の状況



編集方針

2024年度より、東武グループにとって初となる「統合報告書」を発行いたします。作成にあたっては、東武グループのこれまでの歩み・活動内容から、長期的な価値創造に向けた戦略や施策、財務・非財務情報まで、網羅的に報告することを心がけました。編集にあたっては、IFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」やGRI（Grobal Reporting Initiative）の「GRIスタンダード」、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参考にしています。本報告書を通じて、株主・投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆様に、東武グループについて深くご理解いただければ幸いです。

※「東京スカイツリー」「スカイツリー」「東京スカイツリータウン」及び「スカイツリーライン」は東武鉄道（株）及び東武タワースカイツリー（株）の登録商標です。また、「東京ソラマチ」「東京ミズマチ」及び「すみだリバーウォーク」は、東武鉄道（株）の登録商標です。

報告対象範囲

東武鉄道株式会社及びグループ会社

報告対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日 ただし、一部については対象期間前後の情報も含んでいます。

発行時期

2024年12月

将来見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている業績予測などの将来に関する記述は、東武鉄道及びグループ会社の事業に関連する業界動向や、国内及び諸外国の経済状況、その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報に基づいた予想を前提としています。したがって、実際の業績は経営環境などの変化に伴い、これら見通しとは異なる場合がありますことをご承知おください。

刊行物の位置付け

刊行物	内 容	冊子	PDF	HTML
統合報告書	詳細は本報告書の目次をご覧ください。		●	
会社要覧	当社の会社概要及び事業概要、中期経営計画や取組み、業績などについて掲載しています。	●	●	
有価証券報告書	金融商品取引法に基づいて上場会社等が事業年度ごとに作成し、内閣総理大臣・上場証券取引所に提出を義務付けられている報告書です。当社の財務状況に関する詳細はこちらをご参照ください。	●	●	
コーポレート・ガバナンスに関する報告書	「コーポレートガバナンス・コード」に従い、当社のコーポレート・ガバナンスの考え方や体制などを記述しています。		●	
安全報告書	鉄道事業法により公表を義務付けられた報告書です。当社の安全に対する考え方や基本方針、輸送の安全確保のための取組み及びその管理体制などを掲載しています。	●	●	●



東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

「奉仕」

東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。

「進取」

東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。

「和親」

東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。



東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や独創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。

At a Glance

東武鉄道は1897年の創立以来、1都4県463.3kmに広がる鉄道ネットワークに加え、お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開しています。

沿線には、山岳、湖沼、湿原などの自然美があふれる日光国立公園をはじめ、年間3,000万人の観光客が訪れる浅草・東京スカイツリーエリア、小江戸情緒あふれる川越エリアなど、国際観光地や交通アクセスが至便な観光資源があります。今後も事業を推進していくことで沿線価値の向上と、東武グループの持続的な成長を目指していきます。

東武グループの概要

(2024年3月31日現在)

財務情報

営業収益

635,964
百万円

営業利益

73,883
百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

48,164
百万円

有利子負債／EBITDA倍率

5.9倍

配当性向

23.6%

ROE

9.5%

非財務情報

鉄道年間輸送人員

837百万人

東京スカイツリー
年間入場者数

4,472千人

グループ会社数

連結子会社**68**社
持分法適用会社**3**社

鉄道営業キロ数

463.3km

鉄道車両数

1,775両

GHG排出量

スコープ1 **129,255** t-CO₂

スコープ2 **343,024** t-CO₂

対象ガス：CO₂、HFCs、SF₆

※CO₂：エネルギー起因によるもの

従業員数

18,384人
(単体3,280人)

This map illustrates the Tohoku region of Japan, highlighting the Tohoku Shinkansen (orange line) and other major rail lines. Key cities and locations marked include Aomori, Sendai, Utsunomiya, Maebashi, Tokyo, and Yokohama. The map also shows the surrounding prefectures: Aomori Pref., Iwate Pref., Miyagi Pref., Fukushima Pref., Ibaraki Pref., Tochigi Pref., Gunma Pref., Saitama Pref., and Chiba Pref. An inset map in the top right corner shows the location of the Tohoku region within the Japanese archipelago.



東武グループ 統合報告書2024 05